

科目区分	専門基礎分野	科目名	関係法規Ⅱ (事例検討)	対象学生	第3学年
		単位数(時間数)	1単位(15H)	学 期	第2学期
担当講師	山田 円(臨床経験12年、教育経験21年)				
科目目標	1. 医療訴訟や行政処分の判例から医療の質や医療人のあり方について理解する。 2. 看護倫理を基盤として看護関係の法律を遵守し、看護専門職としての責任ある行動について自分の考えを述べる。				
授業概要					
第1回	看護法	1. 保健師助産師看護師法の構造と附属法令 2. 沿革 3. 保健師助産師看護師法の位置づけ 4. 保健師助産師看護師法			(講義)
第2回	看護法	4. 保健師助産師看護師法			(講義)
第3回	看護法と関連基準	1. 看護師等の人材確保の促進に関する法律 2. 看護業務基準			(講義)
第4回	法的責任	1. 看護師の法的責任の理解 2. 看護師の法的責任の理解に必要な用語 3. 医療訴訟			(講義)
第5回	看護師の法的責任	事例検討			(GW)
第6回	看護師の法的責任	事例検討			(GW)
第7回	看護師の法的責任	発表 まとめ			(GW・講義)
第8回		終了試験:1H			
看護師国家試験出題基準					
保健師助産師看護師法の目的・定義、免許、業務、守秘義務、業務従事者届、臨床研修等を受ける努力義務、特定行為に係る看護師の研修制度、看護師等の人材確保の促進に関する法律の基本方針 ナースセンター、看護師等の確保、就業継続、看護師等の届出制度、医療法、保健師助産師看護師法 倫理綱領、倫理原則、看護業務基準、患者の権利、ヘルシンキ宣言、ジュネーブ宣言、リスボン宣言 医の倫理の国際綱領					
授業の進め方					
テキスト、及び配布した資料に基づき講義を実施する。 グループワークでは、現実起こった事例を用いてディスカッションし、発表する。					
履修のポイント・留意事項					
今まで学習した既習知識を引き出し、活用しながら学習することが成果につながる。 グループワークでは、学生が主体的に取り組み、考え方を深化させることが重要となる。					
テキスト					
系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令 医学書院 看護者の基本的責務 日本看護協会出版会 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学① 看護学概論 医学書院					
評価方法・配点					
終了試験:筆記試験(80%) 事例検討発表:提出レポート(20%)					